

■勝島王冠（SⅡ）アラカルト（過去全 11 回の分析）

※記録は令和 2 年 11 月 25 日時点

■ 1 番人気馬の 3 着内率は 8 割超

単勝 1 番人気馬は 6 勝、2 着 2 回、3 着 1 回で、3 着内率が 81.8%、単勝 2 番人気馬は 1 勝、2 着 3 回、3 着 0 回で、3 着内率が 36.4%、単勝 3 番人気馬は 2 勝、2 着 3 回、3 着 0 回で、3 着内率が 45.5%となっている。単勝 1 番人気馬の好走率が非常に高いレースだ。

■ 上位人気馬が 1～2 着を占めた例も多数

過去 11 回のうち 9 回は、単勝 3 番人気以内の馬が勝利を収めている。なお、単勝 3 番人気以内の馬によるワンツーフィニッシュ決着は 7 回、単勝 3 番人気以内の馬によるワンツースリーフィニッシュ決着は 1 回ある。

■ 優勝馬はすべて 6 歳未満

馬齢別の勝利数を見ると、3 歳が 2 勝、4 歳が 4 勝、5 歳が 2 勝、6 歳が 3 勝となっている。7 歳以上馬の優勝例はまだない。

■ 牝馬、外国産馬とも出走例が少ない

牝馬は第 2 回（平成 22 年）のラインジュエル（12 着）が唯一の出走例となっている。また、外国産馬の出走例も第 9 回（平成 29 年）のシャドウパーティー（16 着）のみである。

■ 騎手別の歴代最多勝記録は「2」

騎手別の勝利数を見ると、2 勝の繁田健一騎手、森泰斗騎手がトップタイとなっている。

■ 調教師別の歴代最多勝記録は「3」

調教師別の勝利数を見ると、3勝の森下淳平調教師が単独トップ。福永敏調教師が2勝で単独2位となっている。

■ 未勝利の枠番、馬番は多くない

枠番別勝利数を見ると、4枠（3勝）が単独トップ。2枠と7枠（各2勝）が2位タイとなっている。なお、未勝利の枠番は1枠だけだ。また、馬番別勝利数を見ると、7番（2勝）が単独トップ。未勝利の馬番は1番、2番、6番、9番、14番、16番となっている。